

海外と日本の違いを学ぶ異文化理解プログラム



実施
学校名 **東京都立芦花高等学校**

日時 **令和6年12月20日（金）**

場所 **教室**

プログラム概要

- ・日本語でコミュニケーションが取れる様々な国の留学生が来校し、日本語での異文化交流を体験しました。
- ・留学生から、母国の文化や習慣、ライフスタイルなどを教わりました。日本との違いやその背景等を知ることで、グローバルな視点が養われ、視野が広がりました。

体験風景

1 プログラムの説明



ファシリテーターによる挨拶とプログラム内容の説明が行われました。その後、メキシコやブラジル、リトアニアなどから来日した留学生より、自己紹介がありました。

2 グループワーク（母国の紹介）



留学生が母国の食事や文化、日本の学校との違いなどを紹介しました。また、ジェスチャーを交えて母国語で挨拶をする場面では、教室中に様々な言語が飛び交っていました。

3 グループワーク（質疑応答）



生徒から留学生に、部活動や民族衣装、季節行事での食べ物などについて多くの質問がありました。留学生の母国について様々なことを教わり、生徒からは、「直接現地で学んでみたい」との声が聞かれました。

4 グループ発表



生徒は、現在も内戦中の国があることや、国によって大学進学目的が異なることなど、留学生から学んだことをグループごとに工夫しながら発表しました。

参加した生徒の声・反応

- ・色々な国について知ることや、日本との違いを学ぶことができ良かったです。直接話することで、その国の人の価値観が分かり勉強になりました。
- ・時間割や学校生活など、日本との違いを知ることができました。今後、海外から来日した方と交流する時には、今回の経験を役立てたいと思います。
- ・言語や食事、共通テスト、兵役の話が印象に残りました。また日本と外国の違いを「Why 違う?」と考えることで、人種や文化の壁がなくなったように感じました。